

物忘れ外来のご案内

認知症の初期症状は、物忘れ・自発性の低下・怒りっぽくなるなどの様子が見られます。

しかし、症状はゆっくりと進行するため、一緒に生活されているご家族も気が付かない場合が多くあります。よって、初めて受診された際には症状が進行してしまっているケースもよく見受けられます。

認知症を来す病気はたくさんあり、まずはその病気を見つけることから始まります。

認知症の多くがアルツハイマー型認知症ですが、レビー小体型認知症、血管性認知症なども見られます。

現在は、抗認知症薬が開発され、早期に治療することで認知症の症状の進行を遅らせ、家族の介護負担も軽減できるようになってきました。

ご自身やご家族で以下のような症状に思い当たる点があれば、物忘れを年齢だけの原因と考えずしっかり原因を調べて、必要があれば早期治療を行いましょう。

- 同じことを何度も言ったり聞いたりしてしまう
- 物の名前が出てこなくなった（思い出せない）
- 以前関心があったことに対して興味が薄れてきた
- 置き忘れたのを他人のせいにしたりする
- いつもしていたことができなくなった
- いつもしていたことができなくなった
- 計算や身の回りの管理ができなくなってきた



検査方法

脳 MRI＋MRA、血液検査、長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、MMSE（ミニメンタルステート検査）を行い、脳神経外科専門医（毎週金曜日午前）が総合的に診断いたします。

必要に応じてお薬の処方も行います。

予約方法

当院に電話または直接受付でまずは検査予約をしていただきます。

後日検査結果が出てからの診察になります。

予約受付窓口 03-3881-2221 まで